

**令和4年度病院事業決算が
確定しました**

■令和4年度収支決算報告

単位：千円

区 分		決算額
収 入	病院事業収益	1,907,277
	医業収益	1,177,986
	医業外収益	481,336
	老人保健施設事業収益	195,097
	訪問看護事業収益	52,858
支 出	病院事業費用	1,994,428
	医業費用	1,635,271
	医業外費用	98,684
	老人保健施設事業費用	197,566
	訪問看護事業費用	57,135
	特別損失	5,772
差 額		▲ 87,151

決算額は税抜きです。



一日平均患者数
(外来)

162.4人 (R3 159.1人)



一日平均患者数
(入院 99 床)

81.3人 (R3 80.2人)



一日平均利用者数
(老人保健施設 45 床)

42.1人 (R3 40.8人)



一日平均利用者数
(デイケア)

10.0人 (R3 10.2人)



病床利用率

82.2% (R3 81.1%)



一日平均利用者数
(訪問看護)

24.2人 (R3 20.1人)

収益の確保による健全な病院運営のため、地域の皆さんに「かかりつけ医」として利用してもらおうとともに、入院患者の確保のため鳥取市内の急性期病院からの患者受入を積極的に進めていきます。全国的に、地域包括ケアシステムの一層の推進が求められていますが、これは、住み慣れた地域や自宅等で暮らし続けていただくための取り組みです。智頭病院では入院から退院後、訪問診療や訪問看護など在宅での療養へスムーズに移行していただけるよう体制を

整えていますので相談ください。令和4年度の当院の経営状況は、8,715万円の赤字となりました。本町でも新型コロナウイルスの感染が広がったため、発熱外来の受診者が増加し、検査の件数も増加しました。入院患者も前年に比べ増加したことにより、収益が増加しましたが、病院内でも新型コロナウイルス感染症の広がりがあったため、この対応のための経費が増大することとなりました。さらに、医療人材確保による人件費の増と物価高騰による費用の増加が大きく影響し赤字の決算となりました。

また、今後とも継続して医療を提供するため、医療・介護従事者の確保にも努め、体制の充実を図ります。安心してこの地域で暮らしただけでなく、地域の皆さんに信頼される病院を目指します。

新型コロナウイルス感染症については、5月から感染症分類がインフルエンザ並みとなり、経済活動が活発になるなど様々な分野で人の動きが多くなっています。智頭病院の入院患者は基礎疾患を持つ高齢者が多いので、長らく面会制限を継続しています。皆さんの協力で感謝申し上げます。今後、感染状況が落ち着くタイミングに合わせて、できる限り制限の緩和を行っていきますので、引き続きご理解と協力をいただきますようお願いいたします。

